

第3次北はりま定住自立圏共生ビジョン(案)に対していただいた御意見の概要と附属機関の考え方

1 募集期間:令和 3年 1月 1日 ~ 令和 3年 1月31日

2 提出件数:4件(1人)

3 主な意見とその対応

(1) 意見を反映したもの(0件)

(2) 既に盛り込み済みのもの(2件)

ページ	項目等	意見等の概要	件数	意見等への考え方
96	観光交流促進事業	地域、近隣の中でコミュニケーションを深めることが重要である。	1	ビジョン案P96の事業概要や事業効果に記載するとおり、圏域の多様な地域資源を活用することで圏域内外の住民との交流を進めることとしています。 結びつきやネットワークを強化することは、定住自立圏構想の柱の1つとして位置付けられており、本圏域においても地域コミュニティの活性化は非常に重要なものと捉えています。
69、70	スポーツイベント交流事業・文化交流事業	まちづくりの活性化に向けて、住民グループ相互の交流や情報共有が必要ではないか。	1	ビジョン案P69・70の事業概要に記載するとおり、イベントなどを通じて、圏域における文化・スポーツ団体の交流を進めることとしています。まちづくり活動などを担う住民グループの相互交流については、各市町で実施するとともに、より広域的な観点から北播磨県民局で実施しており、そのような場の活用を進めていきます。

(3) 反映困難なもの(0件)

(4) 今後の参考とするもの(0件)

(5) その他(2件)

ページ	項目等	意見等の概要	件数	意見等への考え方
-	-	新しい計画の策定に向けて、近隣市町と議論するとともに、市民町民を交えた委員会を立ち上げる必要がある。	1	本ビジョンの策定に当たっては、本市担当課と多可町担当課と協議を行うとともに、市民・町民等から構成される「北はりま定住自立圏共生ビジョン会議」において審議しました。
-	-	過去の事業実績、達成度などは分かるか。	1	本ビジョンの策定に当たっては、第2次北はりま定住自立圏共生ビジョンに定めるKPI等により進捗管理・評価検証を行っています。当該資料は、北はりま定住自立圏共生ビジョン会議の資料として、市HPで公開しています。